

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024年3月31日作成)

小委員会名	企画戦略小委員会	主 査 名：野嶋 慎二 就任年月：2022年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：野嶋 慎二
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>都市計画委員会所属の小委員会および WG における研究活動成果を体系化し、出版物刊行、講習会・シンポジウム開催などを通して専門実務家や地域社会への公開と普及の促進を積極的に推進することを目的とする。上記目的達成のため、具体的な出版物や講習会などの成果として結実させることを重点目標とする。</p> <p>あわせて都市計画本委員会のホームページにより、各小委員会およびワーキンググループのホームページへのリンクや出版・シンポジウム等の情報発信により、活動成果の公開と地域社会へ普及することを目的とする。</p> <p>初年度：都市計画委員会の活動テーマとした国際的活動の展開のための準備研究 2年度：国際的活動の展開を模索するとともに新たな研究課題の検討 3年度：既成市街地の更新再生、歴史的文脈における生活空間再生にかかる論点・計画技術開発を担う新たな課題検討 4年度：生活空間への新たなアプローチを研究協議会で公開議論する</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：野嶋慎二(福井大学) 幹事：三輪律江(横浜国立大学)、松川寿也(長岡技術科学大学)、中島 伸(東京都市大学) 益尾 孝祐(愛知工業大学) 委員：中島 弘貴(東京大学)</p>	
設置 WG (WG名:目的)	<p>① 研究協議会企画運営WG(主査:野嶋慎二) 2023年9月に京都大学で開催される大会・研究協議会開催へ向けて、都市づくりプラン研究小委員会(主査:中西 正彦)と協働して論点整理と意見の集約を行う。</p> <p>② グローバルリスク適応・回生型空間再生WG(主査:中島 弘貴) GRが都市に及ぼす影響に関して、関連分野の知見を収集・整理する。また、GRに適応する空間再生の先進事例を資料調査および現地視察会を通して分析・整理し、既成市街地のローカルな状況を基礎とした実装化のための検討を行う。WGホームページ(開設済)において以上の活動成果を随時発信する。</p> <p>また、都市計画委員会のホームページにより、各小委員会およびワーキンググループのホームページへのリンクや出版・シンポジウム等の情報発信により、活動成果の公開と地域社会へ普及することを目的とする。</p>	
2023 年度予算	270,000円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/i-000/i090-12.html

項 目	自己評価
委員会開催数	4回(年度内計画を含む)
刊行物	なし
講習会	なし
催し物	なし
大会研究集会	1. 都市計画部門研究協議会「今、都市に関するプランの役割と機能を考える」 参加者数 104名
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 都市計画部門研究協議会「今、都市に関するプランの役割と機能を考える」を企画・運営した。</p> <p>2. 研究活動テーマの検討、立案、実施 ・再編した小委員会の活動支援と1つのWGによる新規テーマの実施 ・2024年元日に起きた能登半島地震に対し、望ましい復興まちづくりと復興支援のための研究会(オンライン開催)を4回実施。</p> <p>3. 出版、講習会、シンポジウム等の企画、立案、実施に向けた支援</p> <p>4. 都市計画委員会および各小委員会ホームページの管理</p>
委員会活動の問題点・課題	1. 都市計画委員会の基礎的活動を担う小委員会として継続的・効率的に機能しており、特に大きな問題はない。今後の都市計画委員会活動の展開方針と合わせて本小委員会のあり方を検討していく。